

広報
函館発

共働通信

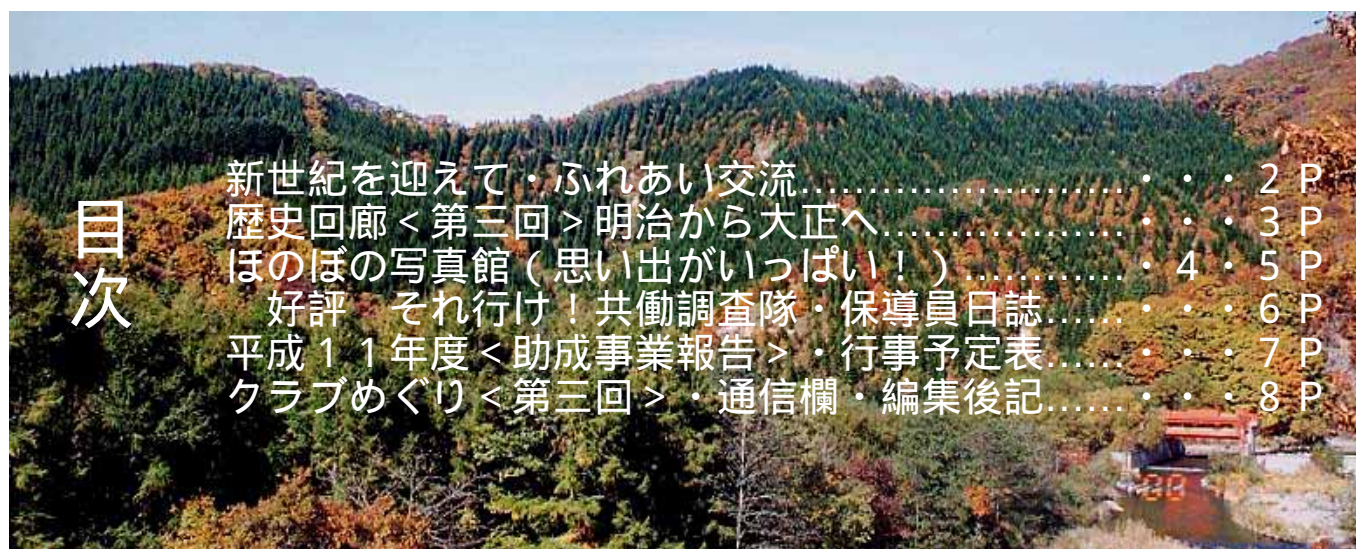
第三号

2001年
1月1日

きょうどうつうしん



秋景／函館共働宿泊所救護部正面玄関にて



目次

新世紀を迎えて・ふれあい交流.....	2 P
歴史回廊<第三回>明治から大正へ.....	3 P
ほのぼのの写真館(思い出がいっぱい!).....	4・5 P
好評 それ行け!共働調査隊・保導員日誌.....	6 P
平成11年度<助成事業報告>・行事予定表.....	7 P
クラブめぐり<第三回>・通信欄・編集後記.....	8 P

函館共働宿泊所救護部より望む近郊の眺望

新世紀を迎えて

函館共働宿泊所救護部
施設長 越前典洋



初春のお慶びを謹んで申し上げます。
旧年中は多くの皆様より賜りましたご厚誼によりまして、
函館共働宿泊所救護部も大禍なく、めでたく新世紀を迎える
ことができました。

また、創刊一年目を迎えたばかりの本広報誌を通じ、新た
な家族交流が生れたなど、望外の喜びと感じております。

本年も職員一同、社会より付託された福祉ニーズにお応え
出来るよう誠意努力して参る所存です。

皆様におかれましては、今後とも当施設に対しまして、尚
一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます。



ふれあい交流

市立亀尾小学校（平成
12年10月25日・右
写真2枚）並びに、市立
亀尾中学校（同年12月
1日・下写真3枚）の両
校それぞれにより、「高齢者や障害を持つ方々と接する
ことで、ノーマライゼーション意識の育成と実践する行
動力を養う。」をテーマに、交流会が開催されました。

児童の皆さんは、晴天用と雨天用のゲームを用意して
いただくという万全の態勢で望んで下さいましたが、当
日はあいにくの雨で、屋内で「×クイズ」と「ねずみ
のよめいり」という劇を見させていただきました。

生徒の皆さんには、入所者の皆さんの居室を訪問して
いただき、肩たたきや趣味の話などで、大いに盛り上が
りました。又、生徒さん手作りの「カルタ大会」や、迫
力ある「よさこいソーラン」の踊りを、ご披露いただき
ました。

普段、若い世代と接する機会の少ない入所者の方々も、
笑顔の絶えない一日となりました。

皆様、本当にありがとうございました。来年もお待ち致
しております。



亀尾小学校児童の皆さんと
「O×ゲーム」を楽しむ入所者



亀尾小学校児童の皆さんによる
劇・「ねずみのよめいり」



亀尾中学校生徒の皆さんと
「カルタ大会」

生徒さんの
手作りカルタ



亀尾中学校の生徒さんと
話に花が咲く。



亀尾中学校の生徒さんと
～ちょっと、お散歩～

ほのまの写真館

思い出がいっぱい!



8月 盆踊り大会



12月 もちつき大会



12月
クリスマス会



函館山展望台より函館市街を望む



9月
三施設合同大運動会



9月
レク・ドライブ 函館山



10月 観楓会(大沼)



10月 C班旅行
鹿部温泉と間欠泉の旅(写真上)



11月
A班旅行
会津若松と松島の旅
(写真右斜め3枚)



7月
B班旅行
浅虫温泉の旅
(写真右)



それ行け!

共働調査隊

好評
拡大版

「正義の味方! おばあちゃん駆ける!!」

函館共働宿泊所救護部の玄関を入ると、右前方には大きな水槽があり、数匹のフナが元気に泳ぎ回っている。

入所者の中で人気者のKおばあちゃんは、「フナちゃん、フナちゃん」と、杖をつきながら毎日かかさず様子を見るのが日課である。

ある日、そのおばあちゃんが慌てた様子で寮母室にやって来た。

「寮母さん、私のフナちゃんが・・・いなくなっちゃったよー」

話を聞いてみると、フナが2匹いなくなったというのである。

「Kさん、フナの数が多いから数え間違えたんじゃない?」

おばあちゃんは、腑に落ちない様子で寮母室を後にした。

そういえば、以前から(自称・飼育係の)瀬川保導員がフナを狙っているという噂が...!

でも、まさかと、私たちは笑って話していたことを思い出した。

そして、時間は流れて、5日後の深夜。

早寝・早起きで知られているおばあちゃんは、妙な胸騒ぎを感じてフナがいる水槽に駆けつけた。

「!!!!」

おばあちゃんは、目を疑った。

当夜当直の瀬川保導員が隠し持っていたカセット・コンロでフナをこんがり焼き、今まさに食べようとしているのではないか!

「私の大事なフナちゃんに何するの!! 成敗してくれる」

(杖を振りかざしたおばあちゃんー! 気分は水戸黄門様、はたまた桃太郎侍といったところでしょうかー!)

「Kさん、許して～。もうフナは食べません～。」

「フナちゃんの痛みを思い知れー!!」

(振りかざす杖、逃げ回る瀬川保導員!)

「こらあ～、待てえ～」

「あれ? Kさん、そんなに腕上がった?」

「あらっ、本当だ?!」

必死になっていたおばあちゃんの五十肩は、気がつけば治っているではありませんか!

「おやまあ、あなたのお蔭で治ってしまったわ」

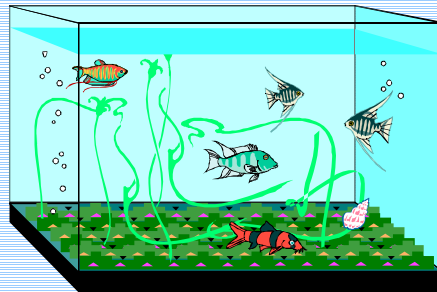
すっかり気を良くしたおばあちゃんは瀬川保導員の所業などすっかり忘れて、「それじゃ、おやすみ」と、いつもの笑顔で戻って行った・・・。

でも、瀬川保導員。もうフナを食べてはいけませんよ!!

おばあちゃんは大事なフナを守ろうと、いつも瞳を輝かせているのだから・・・。



このお話は、99%のフィクションと1%の真実で構成されております。
お取扱にはくれぐれもご注意ください...!
「Kおばあちゃんの五十肩の症状が、少しでも軽くなれば...との願いを込めて...。」



作者 田中真澄

保導員日誌

保導員 瀬川隆弘

保導員として、施設に勤務し早3年半になりました。業務内容は、通院の付添い、入浴介助、行事・レク、園芸クラブ、室内作業指導等を行っています。又、施設及び、施設設備の維持管理にも携わっています。

何分にも歴史のある施設故に、維持管理には気を使う毎日です。

特にボイラーはデリケートで今夏には配管が破れ、床下浸水にみまわれました。それからは、わずかな異音にも耳を側立てています。

今後は、携わる業務の質、内容を向上させるよう努力して行きたいと思います。

(最近ではフナが慣れて、水槽の前に立つと寄って来ます。当直時に水槽の水替えをしています。現在は一匹だけなので、仲間を増やしてあげたいですね...。)

(開所記念祝賀会で、瀬川保導員を披露)



平成11年度助成事業報告



高圧受変電設備(写真上)

(写真右上より、電灯分電盤L-1、
L-2、L-3)
(写真下左、動力分電盤)
(写真下右、電灯分電盤内部)



L-1



L-2



L-3



財団法人中央競馬馬主社会福祉財団の平成11年度助成金の交付を受けて、下記の事業を完了致しました。
ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、財団法人中央競馬馬主社会福祉財団を始め、ご協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

記

- 1、事業名 高圧受変電設備及び電灯電力幹線設備改修電気設備工事
- 1、総事業費 5,302,500円
- 1、助成金 3,970,000円
- 1、完了年月日 平成12年4月7日



除雪機 (写真左上より正面、背面、側面)

函館市の平成11年度社会福祉施設整備費補助金の交付を受けて、下記の事業を完了致しました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、函館市を始め、ご協力を賜りました関係各位に謹んで感謝の意を表します。

記

- 1、事業名 函館共働宿泊所救護部除雪機購入事業
- 1、総事業費 1,417,500円
- 1、助成金 700,000円
- 1、完了年月日 平成11年12月18日

これからの行事

1月

新春お楽しみゲーム大会

双六、輪投げ、ボウリング、百人一首、トランプ、花札、いろはカルタ、宝くじ等全員どれかに参加をしてお正月の気分を満喫します。

新春お楽しみ演芸大会

十数日間行われるゲーム大会、及び、文化祭作品の表彰式典と、趣向を凝らした演芸が披露されます。

書初め大会

新年を迎え、書道クラブ全員が、気持ちも新たに力強く筆を走らせた作品が並びます。

2月

節分

新しい年を迎えるに当たり、厄をはらう意味でその年の年男・年女の入所者に豆を蒔いて頂きその後、甘酒をいただきます。

デパート・シヨツピング

前回は男性と女性の二つのグループに別れて、シヨツピングを行いました。時間を有効に使い買い物と食事を楽しくむと共に、様々な社会体験をして頂きます。

3月

ひな祭り

七段飾りの雛人形を集会室に飾り、男性は招待客となります。食堂にてひな祭りの唄を歌い、楽しいゲームや、甘酒を飲むなどして女の節句をお祝いします。

模擬店

入所者・職員が一致協力して行われ、模擬店八店舗、文化作品展示、施設行事のビデオ上映、介護器具の展示などがあります。また、全員による模擬店作りが、この雰囲気を一層盛り上げます。

踊りクラブ

今回は、10種類あるクラブの中から「踊りクラブ」を、紹介致します。
 このクラブは、毎月第2・4金曜日、利用者10名・職員2名で活動しています。
 発表の場としては、所内行事等で踊りを披露しています。



この写真は、所内行事の1つ、昨年6月1日に行われた開所記念祝賀会で披露された踊りの1コマです。
 行事は、日頃の練習の成果を見せる、絶好の機会となっております。
 実は、この時、この華やかな踊りを見ていた方々も、立ちあがって体でリズムを刻み、全身で楽しんでいました。
 このような折りには、よく体が動くようで、健康作りにも役立っております。

【記者：佐藤香奈美】

編集後記

「共働通信」も今回で第3号となりました。各コーナーの様式もほぼ決まり、編集作業も軌道に乗ってまいりました。しかし、安定はマンネリ化の始まりとなりますので、何時までも新鮮な気持ちで携って行きたいと思えます。なにせ本誌の歴史はまだ始まったばかり。22世紀まで、後100年も残っているのですから...。
 さて、平成13年度には、本誌で培ったノウハウを活かし、ホームページを開設致します。編集委員一同張切っておりますので、今後ともご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

(編集長)

通信欄



広報 函館発
共働通信
 第3号 / 平成13年1月1日

発行
 函館共働宿泊所救護部
 発行責任者
 越前典洋

編集
 広報誌編集委員会
 編集責任者
 内村康彦

〒042-0903
 北海道函館市東畑町158-2
 電話0138-58-4040



広報誌上の入所者の写真は、ご本人の了解のもとに掲載致しております。

お知らせ

予 * 考 報 へ *
 定 * 次 誌 の 報
 不 * 号 寄 誌 告
 足 * せ さ 編 意
 第 * 四 下 集 見
 号 * 号 委 員 共
 は * 頂 員 働
 七 * き 会 働
 月 * 次 員 通
 一 * 号 会 信
 日 * は ま 員 会
 発 * 七 次 員 会
 行 * 月 号 次 員 会
 一 * 一 号 次 員 会
 日 * 日 号 次 員 会
 発 * 一 日 号 次 員 会
 行 * 日 号 次 員 会

表紙



【撮影：年代和紀】